

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農政推進課		新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	1-2-2 1
事業区分	□ 施設等整備費 ■ その他						
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	1	款	2	項	2	目
事業名称	良好な農景観の保全事業						

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	その他	市債	一般財源
令和4年度	162,613	0	0	0	0	0	162,613
補助事業 単独事業							0
令和3年度	149,952	0	0	0	5,000	0	144,952
増△減	12,661	0	0	0	△ 5,000	0	17,661

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	127,147	147,505	149,222	157,625		
	市債＋一般財源	127,147	147,505	144,222	157,625		
決 算	事業費	114,468	139,062	130,562			
	市債＋一般財源	113,981	138,590	129,183			

事業概要	<p>農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能などグリーンインフラ（※1）としての多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観も多様です。農業専用地区（※2）に代表される、集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などによる農地を維持する取組を支援します。</p> <p>※1 農地などの自然的環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本 ※2 都市農業の確立と都市環境の保全を目指し、まとまりのある農地を横浜市独自の制度により指定した地区</p>							
事業開始年度	①水田の保全／水源確保施設整備：平成26年度、田園景観保全水路整備：平成26年度 ②特定農業用施設保全契約の締結：平成21年度 ③農景観を良好に維持する活動の支援／集団的農地維持管理奨励：平成21年度、土砂流出防止対策：平成21年度、農景観保全のための井戸の改修への支援：令和元年度							
根拠法令・方針決裁等	①水田の保全 農景観保全整備関連事業補助金交付要綱 ②特定農業用施設保全契約の締結 みどり税条例 横浜市特定農業用施設保全事業実施要綱 ③農景観を良好に維持する活動の支援 集団的農地の維持管理事業実施要綱 集団的農地の維持管理事業奨励金交付要綱 農景観保全整備関連事業補助金交付要綱							
事業目的・効果（必要性）	<p>（事業目的） 横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家・NPO法人などによる農地を保全する取組を支援します。</p> <p>（効果） ・水源確保施設への支援により、安定的な用水量が確保でき、水稲の継続的な作付けによる水田の保全が可能になります。 ・特定農業用施設の契約件数が毎年増加し、農地の保全に寄与します。 ・農家団体の自発的な活動により、農地の適切な維持管理が図られます。 ・土砂流出対策を実施することにより、局地的集中豪雨による土砂流出を防ぎ、農地周辺の道路等の環境が保全されます。 ・老朽化した水路の再整備を支援することにより、水稲作付の継続による良好な農景観の保全が図られます。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（水源・水路確保施設整備）：5年間で10箇所の事業実施 <実績推移>平成28年度5箇所、29年度3箇所、30年度3箇所、令和元年度2箇所、2年度3箇所 「横浜の緑に関する土地所有者意識調査」（平成29年／横浜市環境創造局）において、農地を所有し耕作を続けるうえで、「固定資産税の支払いが負担に感じる」ことが課題と考えている割合：農地所有者の29.9% 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（集団的農地維持管理事業）：年間730haでの事業実施 <実績推移>平成28年度723ha、29年度675ha、30年度660.8ha、令和元年度641.7ha、2年度643.9ha 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（土砂流出防止対策）：5年間で15箇所の事業実施 <実績推移>平成28年度6箇所、29年度7箇所、30年度7箇所、令和元年度4箇所、2年度5箇所 横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値（農景観保全のための井戸の改修への支援）：5年間で5地区の事業実施 <実績推移>元年度2地区、2年度4地区 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
良好に維持されている農地の面積	単位	目標	675.0	690.0	705.0	720.0	730.0	
	ha	実績	641.7	643.9				
水源・水路の確保	単位	目標	2	2	2	2	2	
	箇所	実績	2	3				
	単位	目標						
		実績						

事業スケジュール	<p>①水田の保全 <水源・水路確保施設整備> ・4～6月：地区調整 ・7～2月：補助事業実施 ・3月：検査</p> <p>②特定農業用施設保全契約の締結 <特定農業用施設保全契約> ・4～5月：事前申請受付 ・6～7月：施設用地測量等 ・9～10月：本申請受付・審査会 ・11月：契約締結</p> <p>③農景観を良好に維持する活動の支援 <集团的農地維持管理事業> ・4月：事業実施申出 ・4～1月：活動実施 ・12～1月：実績報告</p> <p><土砂流出防止対策> ・整備補助、緊急対策、土のう等配付（通年）</p> <p><農景観保全のための井戸の改修への支援> ・4～6月：地区調整 ・7～2月：補助事業実施 ・3月：検査</p>
----------	--

（単位：千円）

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	水田の保全	66,557	55,010	11,547
②	特定農業用施設保全契約の締結	2,021	1,895	126	更新案件の増
③	農景観を良好に維持する活動の支援	94,035	93,047	988	事業実施地区の増
細事業合計		162,613	149,952	12,661	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	近藤 元子	係長	鈴木 雄大	係 小林 優大
--------------------	----	-------	----	-------	------------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-2 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1 款	2 項	2 目		
事業名称	農とふれあう場づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	その他	市債	一般財源
令和4年度	44,042	0	0	0	1,285	0	42,757
補助事業 単独事業							0
令和3年度	40,750	0	0	0	865	0	39,885
増△減	3,292	0	0	0	420	0	2,872

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算	事業費	24,044	25,593	35,436	44,042		
	市債+一般財源	22,644	24,193	34,031	42,757		
決 算	事業費	17,059	12,874	17,038			
	市債+一般財源	15,786	11,707	16,594			

事業概要	<p>食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を市内各地で進めます。</p> <p>また、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村（※1）や恵みの里（※2）を中心に、市民が農とふれあう機会の提供や、農家への援農活動を支援します。</p> <p>※1：良好な田園景観の保全と地域の活性化を目的に、農作物の生産基盤の整備や、樹林地の保全活用などにより、市民が自然と農業に親しむ場として整備している地域</p> <p>※2：市民と農とのふれあいを通じて、地域ぐるみで農のあるまちづくりを進める地区</p>						
事業開始年度	<p>①様々な市民ニーズに合わせた農園の開設/市民農園の開設支援：栽培収穫体験ファーム（平成5年度）、認定市民菜園（平成15年度）、環境学習農園（平成19年度）</p> <p>②市民が農を楽しみ支援する取組の推進/ふるさと村設置事業：昭和58年度（補助金は昭和58年、奨励金は平成26年）、恵みの里推進事業：平成6年度（補助・奨励金は平成11年）、農のある地域づくり協定：平成17年度、講座実施による農体験の場の提供：市民農業大学講座（平成9年度）、農体験講座（平成26年度）、援農コーディネーター（平成23年度）</p>						
根拠法令・方針決裁等	<p>①様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 市民農園整備促進法、特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、栽培収穫体験ファーム事業実施要綱、栽培収穫体験ファーム補助金交付要綱、横浜市認定市民菜園推進事業実施要綱、横浜市環境学習農園事業実施要綱、横浜市環境学習農園事業補助金交付要綱、横浜市認定市民菜園等整備事業補助金交付要綱、横浜市市民農園コーディネーター事業実施要綱</p> <p>②農景観を良好に維持する活動の支援 横浜ふるさと村設置事業実施要綱、横浜市恵みの里推進事業実施要綱、横浜ふるさと村・恵みの里事業推進補助金交付要綱、横浜ふるさと村・恵みの里市民交流事業等奨励金交付要綱、農のある地域づくり協定事業補助金交付要綱、市民農業大学講座実施要綱、家族で学ぶ農体験講座実施要綱、横浜市援農コーディネーター支援事業実施要綱、援農コーディネーター支援事業助成金交付要綱</p>						
事業目的・効果 (必要性)	<p>(事業目的) 食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりにこたえるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を進めるとともに、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農とふれあう機会を提供します。</p> <p>また、農家と地域住民が協働で地域の農環境を保全する取組など、市民による主体的な活動を支援し、これらの取組の情報発信を充実させることにより、市民の利用や参加につなげます。</p> <p>(効果) ・農業体験の場があることで、市民が農業や農地の保全への理解を深めることができ、遊休農地化の抑制につながります。 ・環境学習農園は小学校児童に対する環境教育や体験学習を行うことにより、農業への理解を深めたり、食育の場として活用されています。 ・多くの市民に市内農業とのふれあいの場を提供するだけでなく、市民が主体的に活動し、それを支援する形で地域農業の活性化につながります。 ・実習中心の講座を通じて、小学生から大人まで幅広い層が農作物の栽培や農業の仕組みに対する理解が深まります。</p>						

根拠・データ等		<ul style="list-style-type: none"> ・様々なニーズに合わせた農園面積の推移【横浜市中期4か年計画2018～2021における目標値と各年度の達成値】 <ul style="list-style-type: none"> <目標値>令和3年度末：95ha <実績推移>平成29年度76.7ha、30年度81.1ha、令和元年度85.0ha、2年度88.9ha ・「横浜のみどりに関する市民意識調査（平成29年7月）」において、「農に関することで、今後行ってみたいこと」について「市民農園など、一年を通した野菜の栽培」と回答した割合：35.8% ・「横浜のみどりに関する土地所有者意識調査（平成29年7月）」において、今後農業を続けられない人のうち「所有する農地はどのように管理するか」に対して「市民農園として貸し出す」と回答した割合：16.9% ・「横浜のみどりに関する市民意識調査（平成29年7月）」において、「農に関することで、今後行ってみたいこと」について「イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験」と回答した割合：39.5% ・市民農業大学講座 修了・認定実績 <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成30年度58人、31年度42人、令和2年度33人 ・家族で学ぶ農体験講座 参加者実績 <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成30年度37人、31年度36人、令和2年度10人 							
事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
様々なニーズに合わせた農園面積	単位	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	ha	実績	1.3	1.11					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール		<p>①様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 <市民農園の開設支援> ・通年：新規開設相談対応・事務手続き支援 ・通年：農園管理運営支援 ・農園施設整備支援（原則12月までに申請受付）</p> <p>②市民が農を楽しむ支援する取組の推進 <ふるさと村、恵みの里農体験教室・収穫体験> ・通年：奨励金</p> <p><ふるさと村、恵みの里事業推進> ・通年：補助事業</p> <p><農のある地域づくり協定> ・通年：既存締結地区の協定事業の推進</p> <p><講座の実施による農体験の場の提供> ・12～2月：企画・起案 ・4月～：講座の開催</p>						
----------	--	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	15,688	16,900	▲ 1,212
②	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	28,354	23,850	4,504	農体験拡大のための調査に伴う増
細事業合計		44,042	40,750	3,292	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	近藤 元子	鈴木 雄大	小林 優大

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農業振興課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-2-2 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	1 款	2 項	2 目			
事業名称	市民や企業と連携した地産地消の展開事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	15,900			120	0	15,780
補助事業 単独事業						0
令和3年度	16,920			180		16,740
増△減	△ 1,020	0	0	△ 60	0	△ 960

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	22,673	9,900	16,700
市債＋一般財源	22,493	9,720	16,520
事業費	18,860	6,524	5,276
市債＋一般財源	18,692	6,344	5,276

令和5年度	令和6年度	令和7年度
14,358		
14,358		

事業概要	「食」と「農」をつなぐ人材の育成、活動の支援、ネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等との連携を推進します。また、生産者・事業者・消費者など地産地消に関わる様々な主体のネットワークの充実を図ります。							
事業開始年度	(1)地産地消を広げる人材の育成 ・はまふうどコンシェルジュの育成(平成17年度) ・地産地消活動の発表と情報交換の場の設定(平成26年度) (2)市民や企業等との連携 ・企業等との連携の推進(平成23年度) ・地産地消ビジネス創出の推進(平成26年度) ・学校給食での市内産農産物の利用促進(平成15年度)							
根拠法令・方針決裁等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例、横浜市内地産地消推進会議設置要綱 横浜市はまふうどコンシェルジュ活動事業補助金等交付要綱、よこはま地産地消サポート店登録支援要綱 横浜市地産地消ビジネス創出支援事業実施要綱、横浜市地産地消ビジネス創出支援事業補助金交付要綱 地産地消関連事業方針							
事業目的・効果(必要性)	地産地消の取組は、従来から農家が行っている直売所や朝市などでの農産物の販売だけでなく、市民や企業、学校など、様々な主体が実施する活動へと発展してきています。この動きを更に拡大すべく、地産地消に関わる人材の育成と併せ、こうした人材や企業等と連携した取組の強化が必要です。そこで、「はまふうどコンシェルジュ」などの事業により、「食」と「農」をつなぐ人材の育成、活動の支援、ネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等との連携を推進します。こうした取組により、生産者・事業者・消費者など地産地消に関わる様々な主体のネットワークの充実を図ります。							
根拠・データ等	・はまふうどコンシェルジュの活動支援等の過年度実績【横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度)の評価・検証(令和元年6月)】 <実績推移>平成26年度：14件、平成27年度：22件、平成28年度：27件、平成29年度：23件、平成30年度：24件 ・はま菜ちゃん料理コンクール応募作品数の過年度実績 <実績推移>平成15年度：57点(第1回)、平成26年度：1,362点、平成27年度：1,430点、平成28年度：1,595点、平成29年度：1,837点、平成30年度：2,015点							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
市民・企業等と連携した地産地消の取組数	単位	目標	40	44	44	44	44	
	件	実績	41	45				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						

